

氏名	浜 崎 睦
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 4 7 号
学位授与の日付	昭和45年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	人の子宮頸癌より分離された新株細胞について 特に新株細胞の細胞起原とその性格について
論文審査委員	教授 小川 勝 士 教授 妹尾左知丸 教授 佐 藤 二 郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

1963年2月19日に、小川一三が日本人子宮頸癌組織より分離株化に成功した岡大株は次の点から上皮性腫瘍性性格をもつことが明らかとなった。即ち、本細胞はHeLa細胞と同様にL細胞と異なり、好銀線維形成能を欠除し、また、鉄コロイド貪喰能がきわめて低かった。本細胞のHamster Check Pouch 内移植により形成された腫瘍の病理組織学的形態は上皮性腫瘍の性格を示した。電顕にて本細胞にDesmosome の存在が確認された。解糖系酵素の活性は、本細胞がHeLa細胞より低かったが、脱水素系酵素の活性は両者に差がなかった。

LDH Isozymeについては、LD₁ LD₂ LD₃ の分画が増量した腫瘍特有の分画を示し、しかもLD₁の分画において本細胞は、HeLa よりも平均約12%少なかった。

備考：昭和45年2月1日 日本産婦人科学会雑誌 第22巻第2号に掲載

論文審査の結果の要旨

本研究は、先に人子宮頸癌から分離された培養株（OG株）につき、その生物学的、電顕的、酵素化学的性状を検索したものであるが、これが日本人子宮頸癌細胞に起原をおく新細胞株であることを確証したものときて価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。